

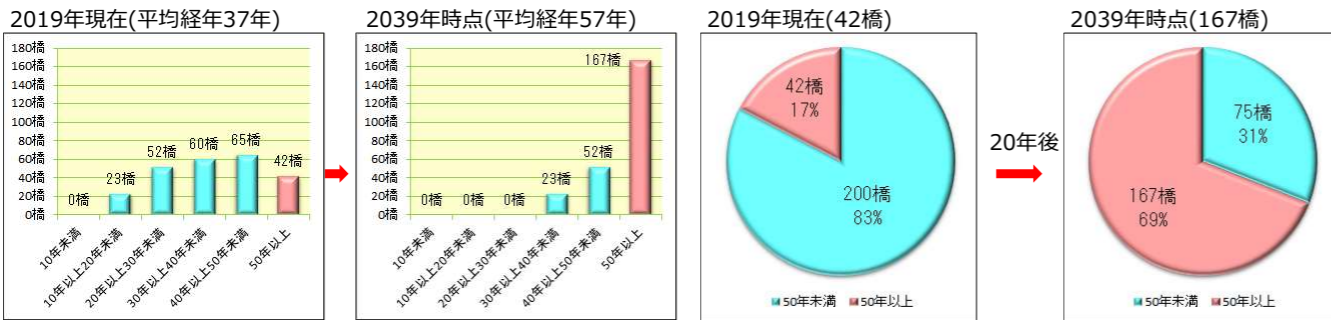
新ひだか町 橋梁長寿命化修繕計画

背景・目的

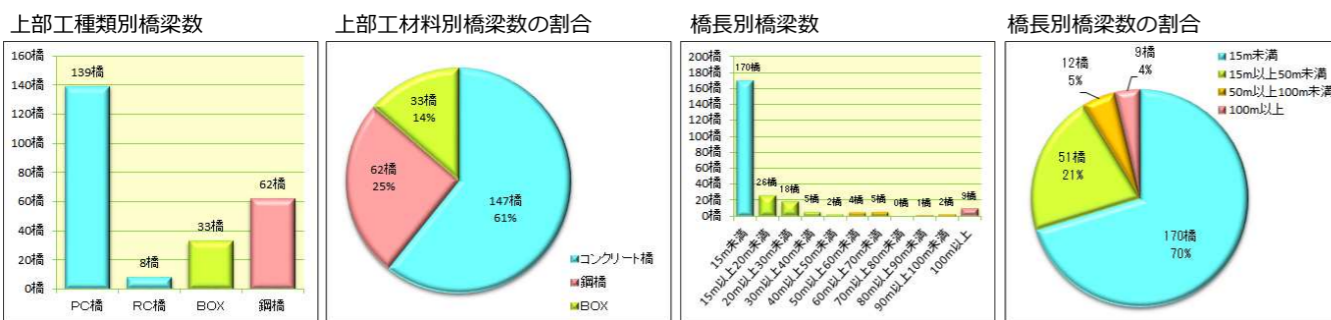
○新ひだか町が管理する町道に架かる長寿命化修繕計画対象橋梁は、現在242橋となっております。このうち建設後50年以上を経過する高齢化橋梁は42橋で全体の17%です。

○今後20年後には建設後50年以上を経過する橋梁は全体の69%である167橋となり、急速に高齢化橋梁が増大します。

建設後50年以上の橋梁数の割合



上部工種類別及び材料別橋梁数の割合



○このような背景から、今後、増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りコスト縮減への取り組みが不可欠であると考えられます。

○道路交通の安全性を確保する上で、道路管理者はこれまでの事後的な対応から計画的かつ、予防的な対応に転換を図り、長寿命化によるコスト縮減を図ります。

健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

○健全度の把握の基本的な方針

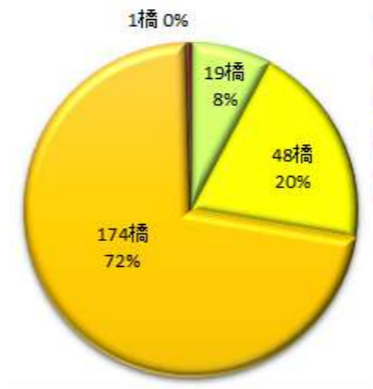
健全度の把握については、橋梁の架設年度や立地条件等を十分考慮して実施するとともに、北海道市町村橋梁点検マニュアル(案)(北海道道路メンテナンス会議)に基づいて定期的に実施し、橋梁の損傷を早期に発見します。

○日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール、清掃などの実施を徹底します。

対象橋梁の損傷状況

損傷評価区分別橋梁数の割合



○新ひだか町が管理する町道に架かる長寿命化修繕計画対象橋梁に、損傷の著しい「e」判定の橋梁は1橋、補修の要否を検討する必要がある「d」判定の橋梁は174橋(72%)確認されております。

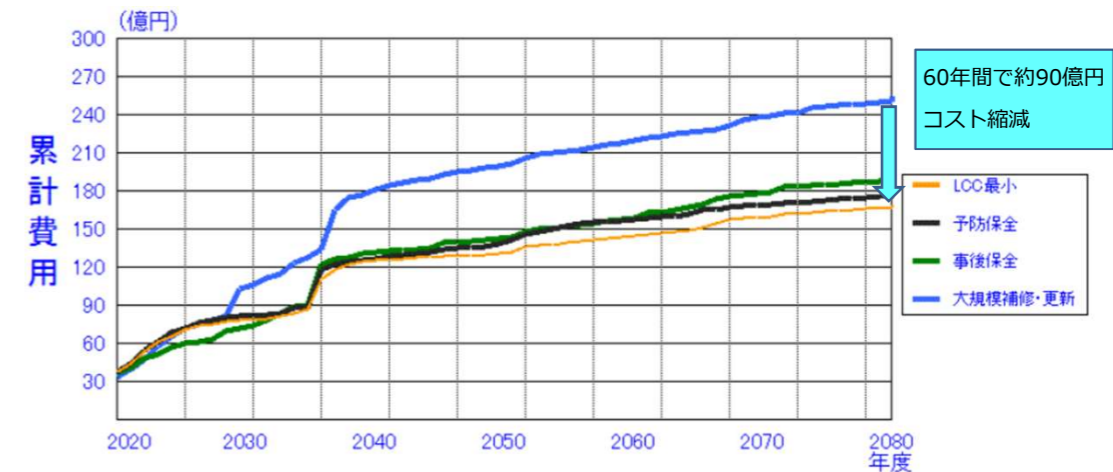
○追跡調査を要する「c」判定の橋梁は48橋(20%)、損傷の程度を記録する必要がある「b」判定の橋梁は19橋(8%)確認されております。

- a 点検結果から、損傷は認められない。
- b 損傷が認められ、その程度を記録する必要がある。
- c 損傷が認められ、追跡調査を行う必要がある。
- d 損傷が大きく、詳細調査を実施し補修・補強の要否の検討を行う必要がある。
- e 損傷が著しく、補修・補強が必要である。

対象橋梁の修繕費用に関する基本的な方針及び効果

○健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針とともに、予防的な修繕等の実施を徹底することにより、修繕・架替えに係る事業費の大規模化及び高コスト化を回避し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

保全・更新費用の推移



○北海道市町村橋梁管理システムのBMSによると大規模補修・更新では、今後60年間で約260億円、予防保全では約170億円であり、約90億円(約35%)の縮減が見込まれます。

修繕計画策定担当部署及び意見聴取した学識経験者

○計画策定担当部署

北海道新ひだか町 産業建設部建設課 土木係 TEL 0146-49-0327

○意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

苫小牧工業高等専門学校 創造工学科 下夕村光弘 教授